

平成22年2月25日

会議録 審査内容

◇会議録

- 1 日 時 平成22年2月25日
開会 11時30分 閉会 12時47分
- 2 場 所 役場5階会議室
- 3 出席委員 6名
委員長 堀川貴庸
副委員長 谷口和弥
委員 野原恵子 前川敏春 大野和政 千葉幹雄
- 4 傍聴者 中橋友子
- 5 事務局 局長 堂前芳昭 課長 仲上雄治 係長 金田恭之
- 6 説明員 福祉課長 横山義嗣 障害福祉係長 佐藤展子
こども課長 森範康 児童福祉係長 亀田貴仁 保育係長 吉本哲哉
- 7 審査事件 別紙
- 8 審査結果 別紙

委員長 堀川貴庸

◇審査内容

(11:30 開会)

- 委員長(堀川貴庸) お疲れ様でございます。ただ今から民生常任委員会を開会いたします。まず最初に付託された陳情の審査、陳情第25号の件につきまして、お諮りをしたいと思います。閉会中の継続審査ということで、本日審査をしたいと思っはいたのですが、改めて取り扱いについて委員の皆さんのご意見を伺いたいと思うのですが、いかがでしょうか。野原委員。
- 委員(野原恵子) 今日、きちっと審議しないということですか。
- 委員長(堀川貴庸) できればですね、まだ国のほうの状況も見えてない中で、前回の委員会でもそういうご意見も多かったものですから、状況を見ながら審議ができればと思っはいたのですが、なかなか状況が見えてこない中で、私たちとして審議していくのもなかなか大変かなと。もう少し状況を見ながら、私たちも理解や認識を深めて審議したいと思っはいたものですから私のほうから申し上げれば、もう少し継続をしながら審査できればと思っはいたものですから、具体的に申し上げますとその点で、皆さんにご意見を伺いたいという風に思っはいて、お伺いしたところです。前川委員。
- 委員(前川敏春) 委員長の考えに賛同します。
- 委員長(堀川貴庸) 野原委員。
- 委員(野原恵子) いま、政権が交代しまして、民主党は選挙公約では、後期高齢者医療制度は廃止すると、そういう選挙公約で政権交代した部分もある、公約はしっかり守るという、それが国民に対する責任でもあると思うんですよね。それを先送り、先送りというそういう状況の中では、国民の意見をきちっと上げていくということが、この公約を守らせていくという力になると思うのです。そこのところでは、やはり手前に引き寄せてしっかり論議していくということが、私は必要ではないかと思うんですよね。状況が見えないから、状況を見えるように、はっきりと意見を上げておくが、必要だと私は思っはいます。
- 委員長(堀川貴庸) ほかにご意見ございませんか。大野委員。
- 委員(大野和政) 先ほどの委員長の発言で、結構だと思っはいます。
- 委員長(堀川貴庸) 谷口委員。
- 委員(谷口和弥) やはりこの内容については、はやくに委員会としてどうするかという結論を出すべきだと思うのですけれど。先ほど委員長との打合せの中では、会議が当初の予定より30分ずれ込んだと、時間も長くなったと。この後、所管調査もあるわけですが、今日一日の流れとして、今日はどうするかという思っはいで、話をした次第です。ですから、今日このままこの件をやるのかどうなのか、もしやらないのであれば、近日中に委員会を開きなおして審議をするという対応が、必要なのではないかと思っはっております。
- 委員長(堀川貴庸) 取り扱いにつきましても、いま私の提案に対しまして、たくさんご意見をいただきましてありがとうございます。私としましては、先ほど申し上げたとおりなんですけれども。千葉委員。
- 委員(千葉幹雄) 時間、この後の運びと申っはいますか、どのように考えられているのですか。これ、例えば昼まで、午後から例えば所管やるつもりですか。
- 委員長(堀川貴庸) 所管は、このまま行きたいと思っはいますので。
- 委員(千葉幹雄) わかりました。そういう日程であれば、厳しい時間になってくると思っはいます。この25号についてですけれども、いろんな意見あるかと思っはいますけれども、現政府については、

いま委員が発言あったとおりでと思いますけれど、ただあの現状、代替案、施策がねきちっと示されて、そこに移行していくということなんですよね。ですから、高齢者廃止したからといって、解決するものではないと思うんですよ。そこは、今日結論ださなければならないというものでもないし、慎重に見極めながら、そしてまた3月定例会これから入りますから、委員会も当然組んでますから、そういった中で今日のところは、委員長のおっしゃるように時間的にちょっと厳しいから、結論先送りするというわけではなくて、3月になったら委員会開くでしょうから、その時に提案に付してもらって今日のところは、所管事務調査に入って行ってよろしいんじゃないかと、私は思います。

- 委員長（堀川貴庸） 本来からいきますと継続してきましたので、審議させていただきたいところなんですけども、私の考えにも賛同いただけたと思っておりますので、このような形で継続して審議していきたいと思っておりますけれども、それでよろしいでしょうか。
- （はいの声あり）
- 委員長（堀川貴庸） 大変恐縮ですけども、よろしくお願いします。それでは所管事務調査にうつりたいと思います。

※所管事務調査については、この後

- ・ 子どもの権利条例の進捗状況について
- ・ 保育所について
- ・ 障害者福祉に関する事項 について行った。